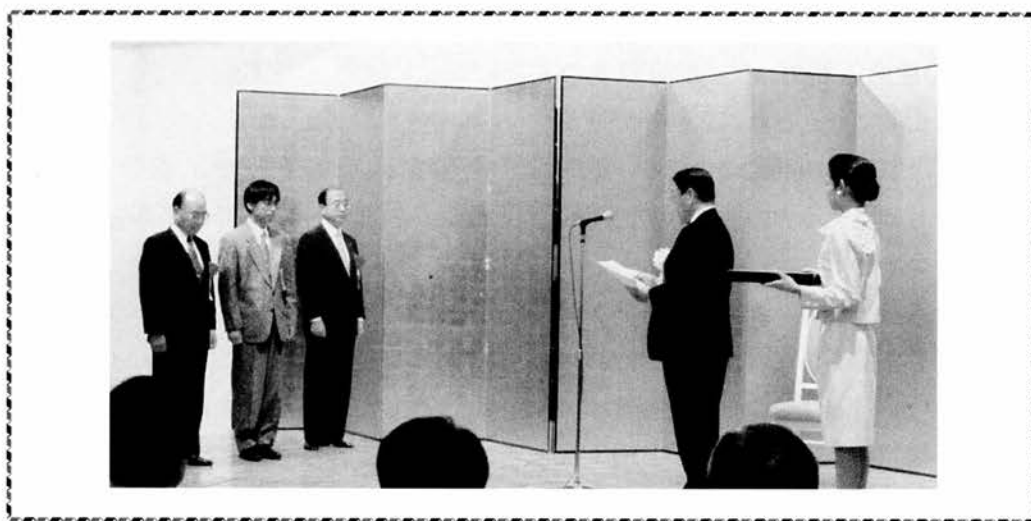


第7回 BELCA賞 表彰式

さる5月19日（火）BELCAの理事会・総会の開催と合わせ、第7回BELCA賞の表彰式を挙行し、ロングライフ部門4件、ベストリフォーム部門5件の計9件を第7回BELCA賞として表彰いたしました。ここに当日の模様をお届けいたします。



会長挨拶

BELCA 会長 高木 丈太郎

会長の高木でございます。

表彰式の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は御多忙のところ受賞関係者を始め、多数の方々のご出席を賜り、誠にありがとうございました。

さて、BELCA 賞は、今回の表彰で第7回を数え、今回も全国から優秀な作品を多数ご応募いただきました。これも建物所有者をはじめとする関係者の皆様の本賞に対する深いご理解の賜物と存じます。

また、審査にあたりましては、審査委員の方々が大変ご苦心されたとお話を伺っており、審査委員の方々には厚く御礼申し上げます。

今般、当協会では今後の十年を見据えた「BELCA 長期ビジョン」を策定し、建築ストッ



ク対策を積極的に行うことを表明いたしておりますが、BELCA 賞はその活動の中でも優良な建築ストックを具体的に世に示すという、重要な活動でございます。今後とも BELCA 賞の充実に努めますとともに、今回表彰されます建築物が、我が国の良好な建築ストックの形成の範となるものと確信しております。

受賞者の皆様、心からお慶び申し上げます。

審査委員長挨拶

BELCA 賞審査委員会委員長

内田 祥哉

ご紹介いただきました BELCA 賞審査委員会委員長の内田でございます。

BELCA は我が国に良好な建築ストックを形成することをその使命として、先進的な日本のリーダーたる会員企業に支えられ、活動いたしております。BELCA 賞はこの活動の中でも、優良な建築ストックを目に見える形で世に示す、最も重要な活動でございます。

昨今、建築物の維持保全が一躍脚光を浴びるようになり、各方面でさまざまな取り組みが行われ始めましたが、いずれも BELCA が先鞭を着けたり、早い時期から構想していたことで、BELCA が出来ていて本当によかったと考えております。

後ほど、この「優良な建築ストック」として、ロングライフ部門4件、ベストリフォーム部門5件、合計9件を第7回の BELCA 賞として表彰いたしますが、これらは激戦の中から選ばれた誠に優秀な建築物でございます。応募は前回よりもかなり増加いたしました。特にリニューアルブームの影響もあってか、ベストリフォーム部門には数多くのご応募をいただきました。用途も事務所や



会館をはじめ学校や工場等多岐にわたり、BELCA 賞もその裾野が広がったと喜んでおります。

さて、既存建築物の表彰という事業については、これまで日本で唯一この BELCA だけが行っていましたが、ここに来て日本建築家協会でも「JIA 二十五年賞」という新たな表彰制度がスタートいたしました。

また、国におきましても、将来の文化財を使いながら保存しようという画期的な登録文化財制度がスタートしました。これらの動きは全て BELCA の発想に先見性があったことを裏づけるものであり、BELCA 賞もこれら諸制度と手を取り合いながら日本の建築ストックをよりよいものにしていきたいと考えております。

また、今回発表された「BELCA 長期ビジョン」では、BELCA 賞を受賞された建築物を中心に調査して「21世紀に望まれる建築像」を策定することも新たな事業として計画いたしております。

今後とも BELCA 賞が発展し、我が国の建築文化に役立つことを願っております。

受賞者の皆様本日は本当におめでとうございます。



第7回 BELCA賞 ロングライフ部門審査総評

本年度も BELCA 賞ロングライフ部門に多くの応募があったが、いずれも立派な物件であるだけに、審査員全員による討議と全物件に対する現地審査が行われた。最終的には慎重な検討の結果、伊予銀行本店・岩手県民会館・新宿三井ビルディング・八十二銀行本店の4物件が第7回 BELCA 賞ロングライフ部門に選ばれた。

4物件はいずれも立地都市の都心部に位置し、それぞれ敷地周辺の地域に溶け込み、古い建築という印象を与えずむしろ新鮮な都市風景を形成している。4物件の半数2物件が銀行であり地方銀行本店で、この賞を受賞する安定感を示している。

4物件の中では八十二銀行だけが都心とは言えず確かに中心と離れているが、それだけにゆとりのある敷地にゆったりとした風格を示している。タイル・サッシュなど材料・施工に本物を感じさせる。

そして伊予銀行本店は終戦間もない昭和27年竣工という貫祿があり、落ち着きのある松山市の顔を形成している。特別贅沢な材料を使っている訳ではないが、戦後の荒廃の中から立ち上がる若々しい造形作品であることを今も示している。地球環境を守る百年建築となるのも夢ではない。半世紀近く使い込んできた関係者の愛情と誇りが伝わってくる。

岩手県民会館は唯一つの公的施設で、竣工当時珍しかった本格的なホールが今日でも全県民から親しまれていると感じさせる。冬期寒冷地の開演を待つ人々を配慮した屋内の広い階段室や、巧みに吹き抜けを利用したエレベーター増設など、人にやさしい配慮が利用者に答えている。

新宿三井ビルディングは超高層ビルの先輩とし

ロングライフ部会主査 柳澤 忠



ての貫祿と、大規模な改修による若返りの新鮮さを示している。しかも足元の外部広場は樹木も成長し、竣工当時とは比べものにならない副都心の賑いの中心広場として定着している。今回の大改修でこのビルもかなり長命な建築になることであろう。

最後に、残念ながら今回選に漏れた物件についても、関係者が運営に努力され利用者からも愛されていることが理解出来る物件が多かった。受賞作品ともども今後ともこれらの物件が大切に使い続けられるように、心から祈念したい。

(当日の記者発表資料より引用)



第7回 BELCA賞 ベストリフォーム部門審査総評

本年度のBELCA賞ベストリフォーム部門にも、多数の応募があった。書類および写真による第1次審査により現地審査を行う物件を選出し、第2次の現地審査に進んだ。

いずれも力作であり、審査員の間で様々な議論が闘わされ、結果、以下の5件が選ばれた。

アサヒビール大山崎山荘美術館は、施主の理解、山荘の古き良き意匠や素材を建設当初の姿に近づける執拗なまでの努力、機能面であい補い環境に配慮した新館との組み合わせ、そして開館後多数の入館者を得てプロジェクトとしての成功を示していること、などが審査員から高い評価を得た。

品川女子学院は、1957年の1号館建設以降増築を繰り返してきた建物群を、劣化対応、耐震性能向上、そして学院のイメージアップをねらって全面的に改修したものである。デザインについては多少問題視する意見もあったが、レベルも違いばらばらであった古い建物群の資産を活かした環境整備の努力に、高い評価が与えられた。

ペテルブルグ美術館は、矢橋賢吉設計の銀行が1989年ホテルに改修され、それが1995年更に美術館に改修されたものである。原建築を活かしたナイジェル・コーツ設計のホテル時代の内外を巧みに保全活用し、国立ロシア美術館と提携した企画とともに、小樽の街にも貢献していると高く評価された。

日鉄セミコンダクター館山工場は、1985年竣工の原建築時に階高など余裕を持ち、周辺環境に配慮されたものであった。この種施設の評価については、種々の意見が出されたが、第1世代から第4世代への性能アップに対応でき、既存利用により、工期、コスト、省力化、環境の面でも有効で

ベストリフォーム部会主査 沖塩莊一郎



あったことが評価され、生産施設として初の受賞となった。

DNタワー21は、渡辺仁設計の二つのビルを、街路に面する部分の表情を保ったまま大きい床面積の高層オフィスビルに再構築するという難問を、施主の理解、設計者の感性、施工者の技術力、の見事な結集で実現させた作品として高く評価された。歴史的建造物の保存と再生に関する手法の博物館ともいえる物件である。

最後に、惜しくも選に漏れた物件についても、審査会では最後まで様々な議論がなされ、受賞作品と同様高く評価される物件が多かったことを追記する。

(当日の記者発表資料より引用)

第7回 BELCA 賞表彰物件

○ロングライフ部門

応募物件名	所在地	竣工年	用途	所有者	設計者	施工者	維持管理者
伊予銀行本店	愛媛県松山市	1952	銀行本店	(株)伊予銀行	(株)日建設計	(株)竹中工務店	(株)伊予銀行
岩手県民会館	岩手県盛岡市	1973	文化会館	岩手県	(株)佐藤総合計画	鹿島建設(株)	(財)岩手県文化振興事業団
新宿三井ビルディング	東京都新宿区	1974	事務所	三井不動産(株)	三井不動産(株) (株)日本設計	鹿島建設(株) 三井建設(株)	三井不動産(株)
八十二銀行本店	長野県長野市	1969	事務所	(株)八十二銀行	三菱地所(株)一級建築士事務所	清水建設(株)	(株)八十二銀行総務部

○ベストリフォーム部門

応募物件名	所在地	竣工年	改修年	用途		所有者	設計者	施工者
				改修前	改修後			
アサヒビル大山崎山荘美術館	京都府乙訓郡	1926	1995	会員制レストラン	美術館	アサヒビル(株)	安藤忠雄建築研究所	(株)大林組
学校法人品川女子学院(東棟)	東京都品川区	1957 1985	1996	中学校・高校	同左	学校法人品川女子学院	フモトデザインスタジオ (株)新井組一級建築士事務所 エイ建築企画(株)	(株)新井組
DNタワー21(第一・農中ビル)	東京都千代田区	1938 1933	1995	事務所	同左	第一生命保険(相模) 農林中央金庫	清水建設(株)一級建築士事務所 ケビン・ローチ ジョン ディンケル・アンド・アソ シエイツアーキテクツ	清水建設(株)
日鉄セミコンダクター(株)館山工場	千葉県館山市	1985	1996	半導体製造工場	同左	日鉄セミコンダクター(株)	KAJIMA DESIGN	鹿島建設(株)
ベテルブルグ美術館	北海道小樽市	1923	1995	ホテル	美術館	丸井ディオス(株)	大成建設(株)一級建築士事務所	大成建設(株)

第7回 BELCA 賞審査委員会の構成及び委員

委員長 内田 祥哉 (東京大学名誉教授)

副委員長 梅野捷一郎 (住宅・都市整備公団理事)

ロングライフ◎柳澤 忠 (名古屋市立大学芸術工学部長)
部会○内井 昭蔵 (滋賀県立大学環境科学部教授)
委員 木村 建一 (早稲田大学理工学部教授)
青木 幹男 (三菱地所(株)取締役第二建築部長)
阿部 紘己 ((株)KAI 建築コンサルタンツ取締役社長)
中田 準一 ((株)前川建築設計事務所)
船津 正義 ((株)日本設計プロジェクト本部本部担当部長)
舟橋 巖 ((株)大林組顧問)
宮入 保 ((株)佐藤総合計画代表取締役専務)

ベストリフォーム◎沖塩莊一郎 (宮城大学事業構想学部教授)
部会○深尾 精一 (東京都立大学大学院工学研究科教授)
委員 鎌田 元康 (東京大学大学院教授)
臼井 齊 (東光電気工事(株)常任顧問)
浦林 亮次 ((株)ユー・アソシエイツ代表取締役)
佐野 幸夫 (鹿島建設(株)専務取締役設計エンジニアリング総事業本部本部長)
萩原 捷 (三井不動産(株)千葉支店次長)
本木 秀美 (第一建築サービス(株)常務取締役)
横沢 国夫 (大成建設(株)常務取締役設計本部本部長)

(◎：主査 ○：副主査)